

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010100	事業の種類	2
年度	1	事務事業名	市民体育館管理事業	予算事業名	市民体育館管理運営事業
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会体育振興課
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ	担当課長	平松孝夫
		取組み事項	スポーツ施設の整備を行う	担当者名	朝田訓弘
			実施計画への記載	無	主要事業の指定
			無		無
実施計画事業名		市民体育館改修			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、体育館利用者			
	誰(何)を対象として	市民、体育館利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が市民体育館を利用し、安全に様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	利用件数	件	7023	7351	7592	7600
	利用者数	人	69176	110025	95646	100000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.328	0.340	104	0.340	100	0.340	100	
	臨時職員	0.148	0.160	108	0.160	100	0.160	100	
支出内訳	人件費	3,292,448	3,340,340	101	3,295,309	99	3,132,361	95	
	事業費	147,935,570	12,016,632	8	9,621,867	80	11,978,000	124	
	合計	151,228,018	15,356,972	10	12,917,176	84	15,110,361	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,567,340	1,831,745	117	1,888,170	103	2,549,000	135	
	一般財源	149,660,678	13,525,227	9	11,029,006	82	12,561,361	114	
	合計	151,228,018	15,356,972	10	12,917,176	84	15,110,361	117	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		市民体育館利用人員							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3700	100000	2702.7	113000	113.0	100000	88.5	
	実績	69176	110025	159.1	95646	86.9			
指標名2		市民体育館利用状況							
指標説明(式)		卓球場利用人員(大人)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	3922	3664	93.4	4046	110.4			

【効率性】

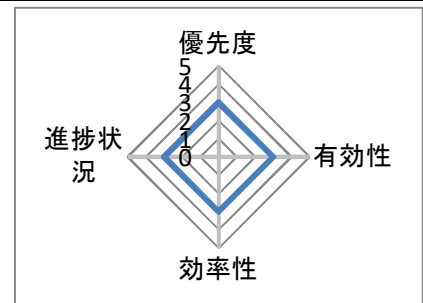
指標名1		市民体育館管理事業費							
指標説明(式)		市民体育館管理事業費総額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	128680000	12689000	9.9	11636000	91.7	11978000	102.9	
	実績	147935570	12015579	8.1	9621867	80.1			
指標名2		市民体育館管理事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	129050000	1050000	0.8	1050000	100.0	1050000	100.0	
	実績	132882760	2530116	1.9	788300	31.2			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	競技場をはじめとする各室の利用が減少しているがその反面、卓球場、柔剣道場の個人利用人数においては前年度の実績を上回った。	3
	組織運営・適正管理	施設の延命化に向け、今後も効率的に維持修繕に取り組む必要がある。	
効率性	コストの節減	節電に心がけ、光熱水費抑制に努めた。	3
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託し、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の第一次避難所であることから、ライフライン断絶時、避難所として機能するため、設備の充実を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の良い状態を保ちつつ、有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	日頃の施設監視を複数の眼で続けることにより、問題個所の早期発見と適切な対応を行う。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010200		事業の種類	2		
年度	1	事務事業名	市民プール管理運営事業		予算事業名	市民プール管理運営事業 優先度 2		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松孝夫	担当者名	朝田訓弘
		取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		市民プール改修事業			市民プール改修工事			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、プール利用者						
	誰(何)を対象として	市民、プール利用者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が安全に利用できる施設として、管理運営を行う。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民プールの施設内における遊泳者の監視や利用者の受付対応、水質の維持管理を行うことにより、利用者が安全かつ快適にプールを利用できるよう努める。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	利用者数(総数)	人	3920	3324	3312	3400
	利用者数(中央プール)	人	0	0	0	0
	利用者数(西部プール)	人	3920	3324	3312	3400

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.084	0.080	95	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	1,019,424	964,460	95	965,909	100	949,221	98	
	事業費	5,974,000	7,973,080	133	6,152,200	77	6,500,000	106	
	合計	6,993,424	8,937,540	128	7,118,109	80	7,449,221	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	6,993,424	8,937,540	128	7,118,109	80	7,449,221	105	
合計	6,993,424	8,937,540	128	7,118,109	80	7,449,221	105		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民プール利用状況							
指標説明(式)		市民プール利用人員(総数)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	3400	85.0	
	実績	3920	3324	84.8	3312	99.6			
指標名2		市民プール利用状況							
指標説明(式)		小学校のプール利用(学校教育課程として)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1500	1500	100.0	1500	100.0	1500	100.0	
	実績	1432	1155	80.7	976	84.5			

【効率性】

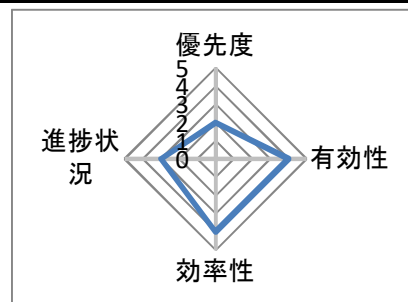
指標名1		市民プール管理運営事業費							
指標説明(式)		市民プール管理運営事業費総額。28年度からは指定管理							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6274000	6274000	100.0	6274000	100.0	6500000	103.6	
	実績	5974000	5974000	100.0	6152200	103.0			
指標名2		市民プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300000	2300000	766.7	300000	13.0	300000	100.0	
	実績	0	1999080	-	178200	8.9			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校の水泳指導として適正に使用できた。学校授業としての利用者は、前年より減となった。	4
	組織運営・適正管理	専門事業者に管理委託することにより、これまで以上に、利用者にとって魅力のある、適正な管理運営を図ることができた。	
効率性	コストの節減	水質管理に努め、使用水量、薬剤の節減に努めた。	4
	執行体制の効率性	指定管理することにより、適正な人員配置を行い、安全確保に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	少子化により、小学校の児童数が減少している昨今、大きな事故もなく、適正な管理運営ができています。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		施設が老朽しており、有効な維持管理が求められる。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	施設の状態に注意しながら、安全第一に利用できる環境を提供できるようにしていく。
見直し事項	将来の方向も視野に入れ、状況に応じた設備の改修計画を見直していく必要がある。
新規事項	
方向	継続   成果   縮小   総コスト   維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010300	事業の種類	2
年度	1	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業	予算事業名	市民グラウンド管理運営事業
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会体育振興課
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ	担当課長	平松孝夫
		取組み事項	スポーツ施設の整備を行う	実施計画への記載	無
				担当者名	朝田訓弘
				主要事業の指定	無
実施計画事業名		スポーツセンター土壌改良工事		東部公園グラウンド改修事業	
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、市民グラウンド利用者			
	誰(何)を対象として	市民、市民グラウンド利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が安全に利用できる施設として、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民グラウンドの利用者が快適に利用できるよう、施設の整備、充実に努める。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	利用者数	人	23162	19319	13777	18000
	利用件数	件	224	180	119	180

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.360	0.360	100	0.360	100	0.360	100	
	臨時職員	0.076	0.080	105	0.080	100	0.080	100	
支出内訳	人件費	3,349,776	3,267,500	98	3,239,109	99	3,165,341	98	
	事業費	4,654,736	3,711,659	80	17,777,594	479	9,081,000	51	
	合計	8,004,512	6,979,159	87	21,016,703	301	12,246,341	58	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	407,100	425,375	104	6,968,400	1,638	437,000	6	
	一般財源	7,597,412	6,553,784	86	14,048,303	214	11,809,341	84	
	合計	8,004,512	6,979,159	87	21,016,703	301	12,246,341	58	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民グラウンド利用状況							
指標説明(式)		市民グラウンド利用人員							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20000	20000	100.0	18000	90.0	18000	100.0	
	実績	23162	19319	83.4	13777	71.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

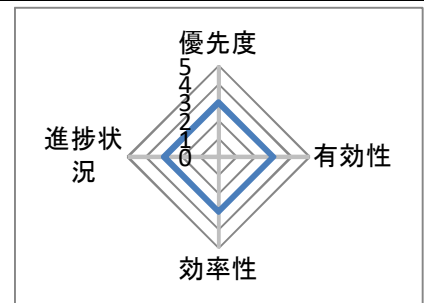
指標名1		市民グラウンド管理運営事業費							
指標説明(式)		市民グラウンド管理運営事業費総額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3818000	3841000	100.6	4002000	104.2	3971000	99.2	
	実績	4654736	3511659	75.4	17777594	506.2			
指標名2		市民グラウンド管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	110000	110000	100.0	15110	13.7	110000	728.0	
	実績	1067256	41040	3.8	14161400	34506.3			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	屋外型施設のため、天候により利用件数等が大きく左右される。令和元年度は土壌改良工事で3か月休場したこともあり、利用者数は大きく減となった。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	施設の老朽による軽微な不具合は発生しているが、早期発見対処により効果的に最小限の費用で対応できている。	3
	執行体制の効率性	利用がない日および利用時間帯等、利用形態に合わせた委託管理の調整を行い、施設管理の効率性を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、良好で適正な維持管理を行い、屋外スポーツの場を提供できている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性		施設の一部が老朽化しており、不調の早期発見に努め、対処する。



配点	25
総合評価	15

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性		使用実態に即した委託管理を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	給水設備の老朽及び能力不足により、稼働が不安定になることがある。いかなる使用においても給水は不可欠であるため、安定した稼働の確保に努める。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501010400	事業の種類	2
年度	1	事務事業名	温水プール管理運営事業	予算事業名	温水プール管理運営事業
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会体育振興課
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ	担当課長	平松孝夫
		取組み事項	スポーツ施設の整備を行う	実施計画への記載	無
				担当者名	朝田訓弘
				主要事業の指定	無
実施計画事業名		温水プール改修事業		温水プール改修工事	
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、温水プール利用者			
	誰(何)を対象として	市民、温水プール利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		指定管理者制度により包括的に委託し、温水プール維持管理運営業務を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	利用者数	人	152252	147819	150635	153000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.320	0.324	101	0.324	100	0.324	100	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	2,840,872	2,778,356	98	2,769,069	100	2,778,489	100	
	事業費	19,324,600	21,094,720	109	22,951,370	109	30,150,000	131	
	合計	22,165,472	23,873,076	108	25,720,439	108	32,928,489	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	601,320	580,920	97	580,920	100	580,920	100	
	一般財源	21,564,152	23,292,156	108	25,139,519	108	32,347,569	129	
	合計	22,165,472	23,873,076	108	25,720,439	108	32,928,489	128	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		温水プール利用状況							
指標説明(式)		温水プール利用人員							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	127000	140000	110.2	150000	107.1	153000	102.0	
	実績	152252	147819	97.1	150635	101.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

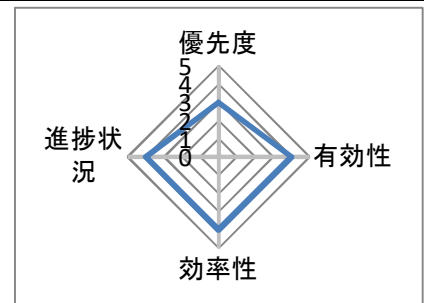
指標名1		温水プール管理運営事業費							
指標説明(式)		温水プール管理運営事業費総額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	22600000	22200000	98.2	23030000	103.7	31850000	138.3	
	実績	19324600	21094720	109.2	22951370	108.8			
指標名2		温水プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3600000	3200000	88.9	3100000	96.9	13900000	448.4	
	実績	669600	2165400	323.4	3172970	146.5			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	軽微な修繕はあるものの、指定管理者の運営努力により時間、施設を有効に活用し、利用者の確保ができた。	4
	組織運営・適正管理	利用者の方向性に応じた運営を行い、要望に対しては迅速な対応を行った。	
効率性	コストの節減	指定管理者による節電、節水等のコスト削減意識により、節減に努められている。	4
	手段の最適性	会員選択制のプログラムを充実させること、会員から要望に対応したトレーニングコースを新設するなど、会員および利用者の獲得に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	利用者が多い施設であるため、安定確実な稼働を確保する必要がある。



配点	25
総合評価	18

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	経年施設であるので、積極的な不良箇所発見に努め、市と指定管理者で連携しながら有効な管理を行う。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020100		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	海洋訓練教室推進事業		予算事業名	海洋訓練教室推進事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然に恵まれた海を利用して、ヨット・ボート・カヌーなど海洋スポーツの普及に努める。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもへの海洋スポーツの普及・促進するため、海洋スポーツクラブに事業委託を行い、又活動拠点の海の環境交流ハウスの維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	参加者	人	839	580	554	600
	会員数(子ども)	人	16	12	11	15

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.024	600	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	401,984	399,476	99	552,069	138	529,389	96	
	事業費	681,752	677,784	99	718,436	106	713,000	99	
	合計	1,083,736	1,077,260	99	1,270,505	118	1,242,389	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,083,736	1,077,260	99	1,270,505	118	1,242,389	98	
合計	1,083,736	1,077,260	99	1,270,505	118	1,242,389	98		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	650	900	138.5	700	77.8	600	85.7	
	実績	839	580	69.1	554	95.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

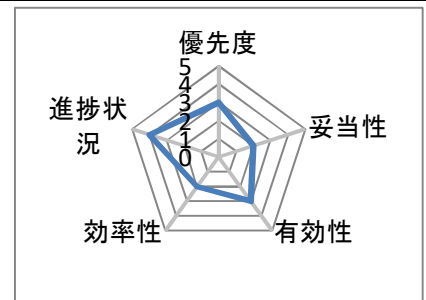
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生湾特有の穏やかな波を活かし、多くの参加者のもと海洋訓練を行えた。	3
効率性	手段の最適性	B & Gあいおい海洋クラブ(委託先)の、市から自立できる体制整備に取り組む必要がある。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに実施することができたが、天候で実施できない日があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	主に会員11名のみが活動している状態である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	海がある街に住む相生の子供たちの未来に影響を与える事業であり、事業の組み立てから改善していく必要がある。

配点	32.5
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020200		事業の種類	3		
年度	1	事務事業名	社会体育計画管理事業		予算事業名	社会体育費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松孝夫	担当者名	朝田訓弘	
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	庁内組織、千種川水系地区社会体育担当者会議およびスポーツ推進審議会						
	意図(どのような状態にしたいのか)	近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	千種川水系地区社会体育担当者会議	回	1	1	1	1
	スポーツ推進審議会	回	2	2	2	2

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.226	0.222	98	0.222	100	0.222	100	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	2,115,380	2,020,088	95	2,015,289	100	2,013,795	100	
	事業費	154,298	173,940	113	160,830	92	191,000	119	
	合計	2,269,678	2,194,028	97	2,176,119	99	2,204,795	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,269,678	2,194,028	97	2,176,119	99	2,204,795	101	
合計	2,269,678	2,194,028	97	2,176,119	99	2,204,795	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進審議会および千種川水系地区社会体育担当者会議							
指標説明(式)		審議会および担当者会議開催数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

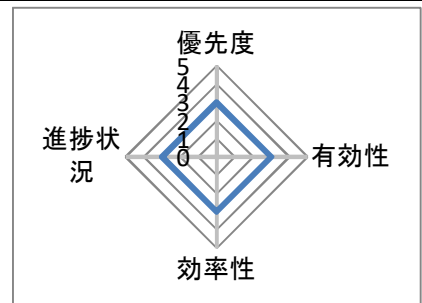
指標名1		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4	3	75.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		一般事務経費							
指標説明(式)		社会体育費事務経費+スポーツ推進審議会報酬							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	198000	193000	97.5	192000	99.5	192000	100.0	
	実績	154298	173940	112.7	160830	92.5			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ推進審議会は年2回開催することができた。	3
	組織運営・適正管理	審議会委員の若返りには至っていない。	
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬のほか、必要事業費のみの予算措置である。	3
	執行体制の効率性	スポーツ関連の幅広い団体からの参画により社会体育振興事業の推進に寄与できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツ推進審議会での答申を得ながら、計画的で効率的なスポーツの推進が図れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	委員構成の若返りと女性委員割合を増やしていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	社会の動向により、選出団体や選出方法の見直しについて検討を行う必要がある。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	縮小

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020300		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	スポーツ活動推進事業		予算事業名	社会体育振興事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松孝夫 担当者名 平野慎司	
		取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21の推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	市民体育大会事業等	種目数	18	18	18	18	
	優秀選手激励制度	件	26	14	4	25	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.660	0.664	101	0.656	99	0.656	100	
	臨時職員	0.134	0.140	104	0.120	86	0.120	100	
支出内訳	人件費	5,817,948	5,693,576	98	5,528,549	97	5,442,933	98	
	事業費	2,373,842	2,292,686	97	2,188,885	95	2,564,000	117	
	合計	8,191,790	7,986,262	97	7,717,434	97	8,006,933	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	225,000	250,000	111	249,000	100	225,000	90	
	一般財源	7,966,790	7,736,262	97	7,468,434	97	7,781,933	104	
	合計	8,191,790	7,986,262	97	7,717,434	97	8,006,933	104	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育大会等実施数							
指標説明(式)		市民体育大会+その他振興事業 ※市民体育大会:18種目 その他:4事業							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	23	22	95.7	22	100.0	22	100.0	
	実績	22	22	100.0	21	95.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

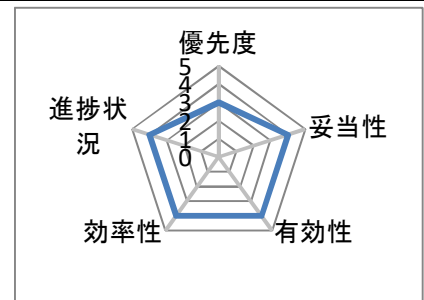
指標名1		市民体育大会等(1種目あたりのコスト)							
指標説明(式)		社会体育普及振興事業費÷大会等種目数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	115956	119636	103.2	116545	97.4	116545	100.0	
	実績	107901	104213	96.6	104232	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	4
	市民サービス	スポーツ安全保険については、体育協会等の種目団体に広く活用された。	
効率性	コストの節減	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動が選択できるよう、幅広く展開できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	各団体の自主的な運営が進むよう、情報共有をはじめとした連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	各事業の一人当たりに係る必要事業費等を抑えつつ、有効な事業費の執行に努めていく。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	大会の事業運営、内容、費用について有効に機能するよう、関係団体間での協議、検討が必要である。
見直事項	
新規事項	
方向	継続   成果   維持   総コスト   縮小

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020400	事業の種類	4
年度	1	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業	予算事業名	ジュニアスポーツ振興事業
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会体育振興課
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ	担当課長	平松孝夫
		取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る	担当者名	平野慎司
			実施計画への記載	無	主要事業の指定
			無		無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(ジュニア層)			
	誰(何)を対象として	市民(ジュニア層)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	相生湾テニスコート	チーム	61	54	39	50
	少年親善剣道大会	チーム	78	76	111	110
	ジュニア陸上競技教室	人	120	111	119	120

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.644	0.644	100	0.632	98	0.632	100	
	臨時職員	0.156	0.160	103	0.160	100	0.160	100	
支出内訳	人件費	5,752,408	5,600,276	97	5,453,189	97	5,321,485	98	
	事業費	1,370,000	1,370,000	100	1,380,000	101	1,430,000	104	
	合計	7,122,408	6,970,276	98	6,833,189	98	6,751,485	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	258,900	306,000	118	306,000	100	330,000	108	
	一般財源	6,863,508	6,664,276	97	6,527,189	98	6,421,485	98	
合計	7,122,408	6,970,276	98	6,833,189	98	6,751,485	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ジュニアスポーツ普及振興事業							
指標説明(式)		事業(大会・教室等数)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	12	12	100.0	13	108.3	13	100.0	
	実績	12	13	108.3	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

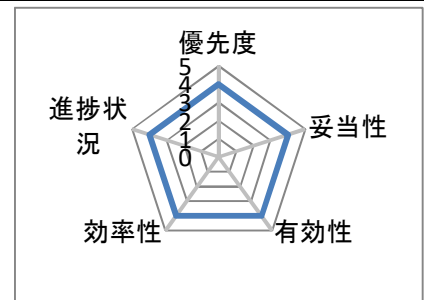
指標名1		ジュニアスポーツ(1大会・教室あたりのコスト)							
指標説明(式)		ジュニアスポーツ普及振興事業÷事業数(大会・教室等)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	114166	114166	100.0	106153	93.0	110000	103.6	
	実績	114166	105384	92.3	106153	100.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	他市町との交流や大会参加により、競技力の向上が図られている。	4
	市民サービス	子ども達に取り組みやすい教室やスポーツをするきっかけとなる場を提供できている。	
効率性	コストの節減	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減を図っている。	4
	手段の最適性	子どもの基礎体力向上に重点をおいて事業の展開を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	少子化と種目の多様化により、参加人数に影響がでている。



配点	32.5
総合評価	26

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係団体との連携、調整により日程や事業内容を充実させる。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	子どもたちの運動能力差が大きく、学校でも基礎体力を補う努力をしてもらうとともに、事業の内容について学校やスポーツクラブと連携を図り、補完できるようにしていく。
見直事項	低学年でも、初めての子どもでも参加しやすく、スポーツへの興味や、やってみるきっかけにつながるような事業展開をしていく。
新規事項	
方向	継続   成果   拡大   総コスト   維持



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020500		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業		予算事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松孝夫	担当者名	平野慎司	
取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	あそぼうる	回	5	5	4	5
	ターゲットバードゴルフ	回	8	8	8	8
	グラウンドゴルフ	回	5	5	4	5
	スポーツフェスティバル参加者数	人	1226	1291	1140	1300

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.788	0.790	100	0.790	100	0.790	100	
	臨時職員	0.248	0.252	102	0.250	99	0.250	100	
支出内訳	人件費	7,106,128	6,940,388	98	6,850,309	99	6,637,591	97	
	事業費	4,025,000	4,000,000	99	3,844,578	96	3,970,000	103	
	合計	11,131,128	10,940,388	98	10,694,887	98	10,607,591	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	435,000	465,000	107	465,000	100	465,000	100	
	一般財源	10,696,128	10,475,388	98	10,229,887	98	10,142,591	99	
合計	11,131,128	10,940,388	98	10,694,887	98	10,607,591	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催事業数							
指標説明(式)		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	20	20	100.0	18	90.0			
指標名2		スポーツフェスティバルAIOI参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1450	1300	89.7	1400	107.7	1300	92.9	
	実績	1226	1291	105.3	1140	88.3			

【効率性】

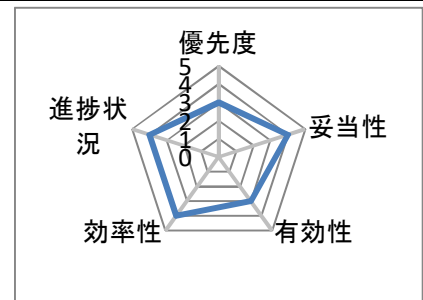
指標名1		スポーツフェスティバルAIOI(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツフェスティバルAIOIに係る事業費÷参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1931	2000	103.6	2000	100.0	2153	107.7	
	実績	2283	2168	95.0	2456	113.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツフェスティバルについては、幼児から高齢者まで、より多くの市民が参加できるように常にプログラム内容や会場構成の見直しを行う必要がある。	3
	市民サービス	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、行政としてスポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	
効率性	コストの節減	市民ニーズや流行を把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	4
	負担割合の適正化	スポーツフェスティバルは幼児から高齢者までの誰もが気軽に参加できるよう、参加料は無料としている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしが図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢化社会に対応すべく、目標達成のため事業内容と運営方法について関係団体と検討する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	多世代で楽しめる「アジャタ」では市民大会開催や、地域、職域への貸し出しを行い、未経験の方に参加の機会を提供する。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	ある程度普及が進んだ種目については、自主的運営の割合を拡大していく必要がある。				
見直し事項	各事業とも新規参加がしやすいような工夫や配慮を検討する。				
新規事項	レクリエーションスポーツの選択肢を拡大できるよう、未導入の種目の研究を進める。				
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020600		事業の種類	4				
年度	1	事務事業名	スポーツ教室事業		予算事業名	スポーツ教室事業		優先度	3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課				
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松孝夫		担当者名	平野慎司	
		取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	初心者を対象としたスポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	スポーツ教室参加者数	人	201	279	268	280

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.240	0.240	100	0.240	100	0.240	100	
支出内訳	人件費	1,620,712	1,629,020	101	1,577,909	97	1,300,101	82	
	事業費	604,970	870,120	144	765,760	88	872,000	114	
	合計	2,225,682	2,499,140	112	2,343,669	94	2,172,101	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	604,970	877,000	145	874,000	100	872,000	100	
	一般財源	1,620,712	1,622,140	100	1,469,669	91	1,300,101	88	
合計	2,225,682	2,499,140	112	2,343,669	94	2,172,101	93		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ教室参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	268	268	100.0	280	104.5	280	100.0	
	実績	201	279	138.8	268	96.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

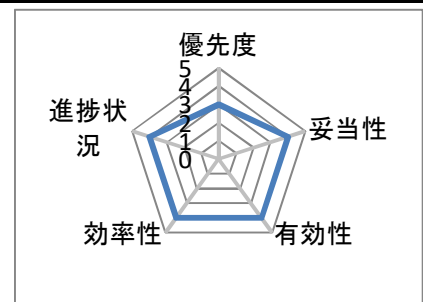
指標名1		スポーツ教室(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ教室実施事業費÷参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3272	3272	100.0	3121	95.4	3114	99.8	
	実績	3009	3143	104.5	3261	103.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	競技場改修工事が前年度に完了したことにより、通年どおりの開講できたため、参加者数は昨年度より増加した。	4
	市民サービス	健康体操、卓球、バレーボール、バドミントン、幼児体操の5教室を開催することができた。有料で申込によるため出席率は高い。	
効率性	コストの節減	講師は体育協会加盟団体を主としたスポーツ団体に依頼しており、事業費は謝礼が主のため、コスト削減は難しい。	4
	手段の最適性	各スポーツ教室とも通常年の開催回数は3期であり、空調設備のない施設としては、教室の開催時期、開催回数ともに最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツに関心をもち、新たに参加する方にも親しむ機会を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	教室開催時期以外にも自主的にスポーツができるよう普及促進を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	教室開催のPRを積極的に行い、新規参加を促す。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	教室のマンネリ化や、受講者の固定化を防ぐために開設方法の研究をし、講師の安定確保に努める。				
見直事項	参加の少ない世代層が参加しやすくなる開設方法について検討する。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501020800		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松孝夫	担当者名 平野慎司
		取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各種目競技の普及推進、奨励を促す。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	スポーツ顕彰	件	46	39	30	58

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.264	0.260	98	0.260	100	0.260	100	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	2,408,664	2,302,580	96	2,296,109	100	2,298,681	100	
	事業費	149,800	79,600	53	105,600	133	223,000	211	
	合計	2,558,464	2,382,180	93	2,401,709	101	2,521,681	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,558,464	2,382,180	93	2,401,709	101	2,521,681	105	
合計	2,558,464	2,382,180	93	2,401,709	101	2,521,681	105		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ顕彰受賞者数							
指標説明(式)		県大会以上に進み、スポーツ顕彰を受賞した人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	58	58	100.0	58	100.0	58	100.0	
	実績	46	39	84.8	30	76.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

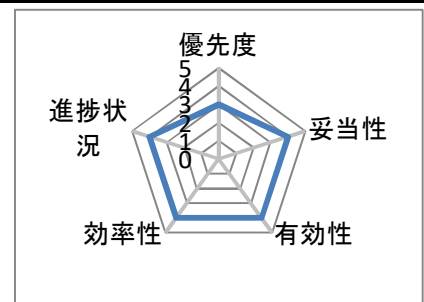
指標名1		スポーツ顕彰受賞者(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ・文化芸術顕彰事業÷受賞者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3448	3448	100.0	3844	111.5	3844	100.0	
	実績	3256	2041	62.7	3520	172.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	4
	市民サービス	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえることができた。	
効率性	コストの節減	制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	功績に相応した顕彰を贈呈できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受賞資格が明確になっている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	対象者の的確な把握を行うこと。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	既存の顕彰制度に加え、指導者等の功績に対して顕彰する制度の検討が必要である。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501021000		事業の種類	
年度	1	事務事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業		予算事業名	優先度
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	担当者名
		取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	主要事業の指定
		実施計画事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業			
		根拠法規及び関連法規				
事業の目的	誰のために(具体的に)					
	誰(何)を対象として					
	意図(どのような状態にしたいのか)					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要						
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

## 3 投入資源

		会計区分							事業費単位:円
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.029	-	0.027	93	
	参事以下職員			-	0.020	-	0.000	0	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費			-	522,509	-	349,461	67	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	522,509	-	349,461	67	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	522,509	-	349,461	67	
	合計			-	522,509	-	349,461	67	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

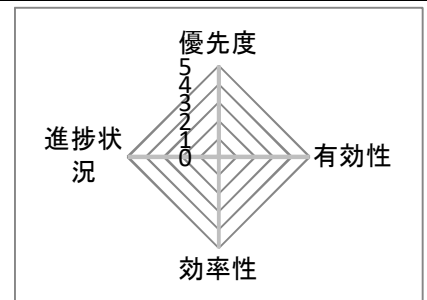
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	成果		総コスト	



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010501030100		事業の種類	3	
年度	1	事務事業名	スポーツ推進委員事業		予算事業名	相生市スポーツ推進委員事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
		施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	平松孝夫	担当者名 平野慎司
		取組み事項	スポーツリーダーを育成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域でのスポーツリーダーとして活動することで、スポーツ活動が活性化する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ推進委員の資質向上のため、各大会への参加、近隣の市町や市内での交流会、研修、講習参加や開催に取り組む。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	スポーツ推進委員会	回	9	9	9	9	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.324	0.324	100	0.324	100	0.344	106	
	臨時職員	0.016	0.020	125	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,913,888	2,833,736	97	2,820,069	100	2,957,669	105	
	事業費	3,123,660	3,265,200	105	3,217,400	99	3,358,000	104	
	合計	6,037,548	6,098,936	101	6,037,469	99	6,315,669	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,037,548	6,098,936	101	6,037,469	99	6,315,669	105	
合計	6,037,548	6,098,936	101	6,037,469	99	6,315,669	105		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進委員数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	27	28	103.7	28	100.0	28	100.0	
	実績	25	28	112.0	28	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

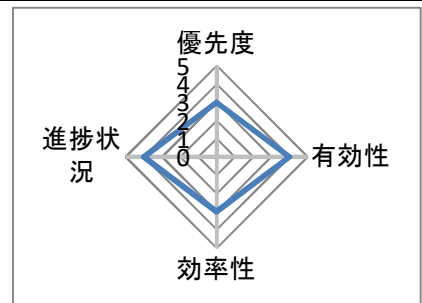
指標名1		スポーツ推進委員報酬							
指標説明(式)		スポーツ推進委員報酬総額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3170000	3116000	98.3	3116000	100.0	3116000	100.0	
	実績	3009600	3032400	100.8	3217400	106.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各事業の指導や支援が円滑に行われている。	4
	組織運営・適正管理	組織運営は適切かつ円滑に行われている。資質向上のための研修にも積極的に参加している。	
効率性	コストの節減	各種事業や新規スポーツ事業等の企画と進行をスポーツ推進委員に依存しているため、報酬の削減は困難である。	3
	執行体制の効率性	改選の際は若返りを図りつつ、地域や種目のバランスを図っている。今後も適任者の発掘に努めていく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域でのスポーツリーダーとして自覚し、積極的に活動できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域スポーツリーダーの確保や育成が重要であり、多様な種目、地域から委員を選出し、組織の新陳代謝を図っていく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	組織として活動の安定を図りつつ、将来を考慮した効率的な配置を行い、コストの削減を図る。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	2年ごとの改選時には、委員の年齢層、性別、種目、地域性などのバランスを考慮していく。
見直事項	スポーツ推進委員の確保や各種スポーツ大会への企画調整に踏み込む体制づくりを図る。
新規事項	研修に参加し、委員の資質向上や実践的指導力の養成をすすめる。
方向	継続   成果   維持   総コスト   維持